WORKABOUT PRO 4

Windows CE

(Model Numbers 7528L-G4 & 7528S-G4)

ハンディコンピュータ

クィックスタートガイド

2016 年 8 月 10 日（改編）

ISO 9001 認証

品質管理システム

© Copyright 2015 by Zebra Technologies Corporation Lincolnshire, IL U.S.A

本書と本書に記載の情報は、Zebra Technologies Corporation が所有権を保有し、極秘として扱われ、Zebra Technologies Corporation の製品やサービスの販売促進のみを目的とすることを除き、全部または一部に関わらず、複製および複写することはできません。さらに本書を、設計、製造、外注の基礎に使用するなど、Zebra Technologies Corporation の利益を損なうような方法で使用することはできません。

Windows® and the Windows Logo are trademarks or registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
The Bluetooth® *word mark and logos are registered trademarks owned by Bluetooth SIG, Inc. and any use of such trademarks by Zebra Technologies is under license.*
All trademarks are the property of their respective holders.
すべての商標はそれぞれの保有者に所有権があります。

製品保証

Zebra Technologies は出荷後 1 年間の製品保証をいたします。Zebra Technologies が製造した機器の保証は、Zebra Technologies 認可サービス機関の従業員以外によって改変、変造、修理された製品については適用されません。詳細は、添付「メーカー保証書」を参照してください。

サービス

修理サービスをご依頼する際は、故障の内容と故障が発生したときに機器がどのように使用されていたかについてお知らせください。タイプ、型名、シリアルナンバーについてもお知らせください。

また、Zebra Technologies に返品する前に、どの製品の場合でも、カスタマーサポートまたは、販売代理店にお問い合わせください。

サポートサービス

Zebra Technologies は、お客様に対し、一貫した製品サポートサービスを提供します。

詳しくは、30 ページの「サポートサービスと世界各地の窓口」を参照してください。

日本での製品サポートは下記までお問合せ下さい。

株式会社ブレイン

〒981-0933

宮城県仙台市青葉区柏木 2-2-7

TEL：022-344-9110　　FAX：022-344-9315

http://brain-autoid.com/

免責事項

本書を完全、正確かつ最新にするため、最大限の努力が払われています。Zebra Technologies は予告なしに変更する権利を有し、誤植など、内容を信頼したことによって起こった結果として生じた損害など、あらゆる損害について責任を負いません。

目次

認証と安全の概要 4
1. 基本的な準備 7
2. WORKABOUT PRO 4 L/S の説明 12
2.2 キーボード 14
2.2.1 特殊キー 14
2.2.2 キー 15
2.3 キーパッドバックライトの調整 16
2.4 ディスプレイ(バックライトの調整) 17
2.5 タッチスクリーンの調整 17
2.6 インジケータ 18
2.6.1 LED 18
2.6.2 画面のインジケータ 19
2.7 音声インジケータ 21
3. Windows CE の操作 22
3.1 タッチスクリーン上の操作 22
3.2 キーボードによる操作 23
3.3 スタートアップデスクトップ 24
3.4 デスクトップアイコンの操作 24
3.5 タスクバー 24
3.6 スタートメニュー 25
3.7 ダイアログボックスの使用 29
4. メンテナンス全般 30
4.1 タッチスクリーンの手入れ 30
4.2 WORKABOUT PRO の掃除 30
5. サポートサービスと世界各地の窓口 31
5.1 技術サポート 31
5.2 製品修理 31
5.3 世界各地のオフィス 32
プログラムライセンス契約 33
メーカー保証 34

認証と安全の概要

CE マーク

家庭用、商用、軽工業環境で使用する場合は、本製品と英国および欧州の承認済み周辺機器が CE マークのすべての要件を満たしている必要があります。

R&TTE Directive 1999/5/EC

この機器は EU Directive 1999/5/EC に関する必須要件に準拠しています。

802.11b WORKABOUT PRO のフランスでの使用:

フランス政府の規制により、フランス 802.11b WORKABOUT PRO の使用は屋内に限定されています。フランス国防省の事前の承認を得ると、私有地での屋外使用が許可される場合があります。

1. ユーザーに対する FCC 情報

連邦通信委員会の干渉についての声明

この機器は、テストにより、クラス B ディジタル機器の制限に準拠し、FCC 規則の第 15 部に従っていることが判明しました。これらの制限は、家庭で使用する際の有害な干渉を適切に回避することを目的としています。本機器は、無線周波エネルギーを生成、使用、放射するので、指示通りの設定、使用を怠ると、無線通信に有害な干渉を与える場合があります。しかし、確実に干渉を起こさないと保証できる設定はありません。

本機器が、ラジオ、テレビ受信機に有害な干渉を起こす場合（本機器の電源オン/オフにより確認可能）、以下のいずれかの方法で修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの方向の再調整または位置の移動。
- 機器と受信機の距離を広げる。
- 本機器を、受信機が接続されているコンセントと異なる回路のコンセントに差し込む。
- 販売業者またはラジオ/テレビ専門技術者に問い合わせる。

本機器は、FCC 規則の第 15 部に準拠しています。本機器の操作は、次の 2 つの条件を満たす必要があります: (1) 本機器が有害な干渉を起こさないこと　(2) 目的としない動作を起こすなど、受信した干渉を本機器が受け入れること。

FCC 警告:　コンプライアンスに責任を持つ者の明示的な承認なしで改造や改変を行うと、ユーザーの本機器に対する操作の権限が無効にされることがあります。

重要な注意事項:

FCC 電磁波放射声明:

本機器は、非制御環境のために定められた FCC 電磁波放射制限に準拠しています。

エンドユーザーは、RF（無線周波）放射適合性を充足するための操作説明に従う必要があります。

本機器は、非制御環境のために定められた、47 CFR 2.1093 節（d）（2）の FCC RF 放射制限に準拠しています。

本機器は、PDA 使用のための SAR 評価を受けています。

本トランスミッタは、他のアンテナやトランスミッタと同じ場所で使用するか、組み合わせて使用することはできません。

病院内や航空機内の機器の一部には、無線周波のエネルギーを防ぐ保護シールドが施されていません。WORKABOUT PRO を、許可なく航空機内や病院内で使用しないでください。
ペースメーカー付近で使用しないでください。本機器は、ペースメーカーなど一部の植込み型医療機器の動作に影響を与え、誤動作を引き起こすことがあります。本機器をそのような機器付近に設置しないでください。本機器と他の機器との間は 20 センチ以上の距離を置き、干渉を起こすリスクを軽減してください。干渉が発生していると疑われる場合は、WORKABOUT PRO の電源を切り、かかりつけの心臓内科医に相談してください。

注意事項: *1996 年 8 月に、米国連邦通信委員会（FCC）は、FCC 規制されたトランスミッタによる無線周波エネルギーの人体への曝露についての最新の安全基準を採択しました。本機器は、FCC のガイドラインおよび基準に準拠するよう設計されています。FCC RF 放射ガイドラインへの準拠を継続できるよう、WORKABOUT PRO を体に装着するときは、付属あるいは* Zebra Technologies *が承認するキャリングケースを使用してください。体に装着するアクセサリーを使用しない場合は、送信の際は体からアンテナを 1.5 センチ以上離してください。*

非承認アクセサリーの使用は、FCC RF 放射ガイドラインに違反する場合があります。

カナダの放射情報

このクラス B ディジタル機器は、Canadian Interference-Causing Equipment Regulations（カナダの干渉を起こす機器の規制）要件のすべてを満たしています。ライセンス供与サービスに対する無線干渉を防ぐため、本機器は室内で操作し、窓から遠ざけて無線干渉を最大限防止しつつ使用することを意図しています。本機器（または送信アンテナ）を屋外に設置する場合は、許可を得る必要があります。

2. ユーザーへの警告

警告: Zebra Technologies の明示的な承認なしで改造や改変を行うと、ユーザーの本機器に対する操作の権限が無効にされることがあります。

本機器にはレーザースキャナが搭載されています。
本機器は、CDRH 21 CFR 1040 Class II および IEC 60825-1:1993+A1:1997+A2:2001 レーザー製品に準拠しています。

レーザーに関する警告

自身の安全のため、以下の警告に従ってください。

警告: レーザー部は、端末の前面に位置します。レーザー光線を直視したり、レーザー光線を人や動物に向けたりしないでください。

警告: ここに記載されている以外の制御、調整または操作を行うと、有害な電磁波に曝露される危険性があります。

警告: 本機器の光学機器を使用することは、目に対する危険性を増大させることになります。

本機器は、波長が 650～680nm の最大 1.4 ミリワット未満の放射強度を持つレーザースキャナを搭載しています。

本機器は、CDRH 21 CFR 1040 Class II および IEC 60825-1:1993+A1:1997+A2:2001 クラス 2 レーザー製品に準拠しています。

爆発性雰囲気の中では操作しないでください

爆発性ガスが存在する中で Zebra Technologies 機器を操作すると、爆発が発生することがあります。

カバーを取り外したり、筐体を開いたりしないでください

怪我を避けるため、有資格のサービス担当者以外の者が機器カバーや筐体を取り外さないでください。カバーや筐体が適切に装着されていない状態で本機器を操作しないでください。

注: 電池パックを取り外してから、カバーや筐体を取り外してください。

警告: 電池の不正な取り扱い、充電、処分、交換は、爆発の危険があります。推奨される同じタイプまたは、同じメーカーの製品に交換してください（例:モデル WA3006 またはモデル WA3010/使用済みの電池は、8 ページの「電池」に示す指示に従って処分してください。電池の安全に関する記載を注意深く見直してください。

警告: Zebra Technologies が承認した電源アダプタのみを使用してください。

1. 基本的な準備

*重要: すべての承認と安全情報の概要は、「**WORKABOUT PRO Hand-Held Computer UserManual-**部品番号**8100196.A** に記載されています。*
電池の充電やスキャナの操作は、安全ガイドラインをすべて見直してから行うことが重要です。

このクィックスタートガイドは Zebra Technologies WORKABOUT PRO Hand-Held Computer の操作と機能に関する基本的な情報を提供します。さらに詳しい情報は、*WORKABOUT PRO 4***(Model Numbers 7528L-G4 & 7528S-G4)** *Hand-Held Computer User Manual（PN***8100196.A**）または使用アプリケーションに付属の文書を参照してください。通常、WORKABOUT PRO は工場にて設定済みなので、すぐに使用することができます。

1.1 メインバッテリーの充電

WORKABOUT PRO C および WORKABOUT PRO S は、以下のいずれかのリチウムイオンバッテリーパックで動作します。

・超大容量 － モデル No. WA3010

*重要: **WORKABOUT PRO** のバッテリーカバーを開く前に**[電源]**を押して本機の電源をオフにしてください。バッテリーカバーを取り外すと、電源オフスイッチが自動的にアクティブになって本機の電源がオフになります。電源がオンのままバッテリーカバーを開くと、本機が再起動することがあります。*

・バッテリーカバーのロックを解除するには、左側のバッテリー留め具を左に回し、右側のバッテリー留め具を右に回します。
・バッテリーカバーを取り外します。
・バッテリーを装着する前にバッテリーボックス内のオン/オフスイッチがオンになっていることを確認してください。
・*充電済み*のバッテリーを本体に装着します。バッテリーカバーを元の位置に戻し、留め具を所定の位置でロックします。

注意事項: ドッキングステーションまたは外部電源を使用している場合、充電されていないバッテリーを装着してオンにすることができます。
*ドッキングステーションは**WORKABOUTPRO G4** 用の**WA4003-G2** をお使い下さい。*

*重要: **WORKABOUT PRO** のバッテリーカバーを開く前に**[電源]**を押して本機の電源をオフにしてください。バッテリーカバーを取り外すと、電源オフスイッチが自動的にアクティブになり、本機の電源がオフになります。電源がオンのままバッテリーカバーを開くと、本機が再起動することがあります。*

工場から出荷されたバッテリーパックは約 40%に充電されているため、使用する前に完全に充電する必要があります。バッテリーは、WORKABOUT PRO の内蔵充電器のほかさまざまな充電器およびドッキングステーションを使用して充電できます。内蔵充電器を使用する場合は適切な電源が必要です。

注意事項: *初めて本機の電源を入れる場合、バックアップバッテリーの容量が低いことを示す警告メッセージが画面に表示されることがあります。内部バッテリーを再充電するには、メインバッテリーが本体に装着された状態でWORKABOUT PRO を完全に充電する必要があります。*

電池は有害廃棄物であると見なされます。適切に処分するため、以下のいずれかに使用済み電池をすべて送付してください。

株式会社ブレイン	Zebra Technologies Corporation
〒981-0933	475 Half Day Road, Suite 500
宮城県仙台市青葉区柏木 2-2-7	Lincolnshire, Illinois 60069 USA

警告: 電池からの酸の漏出、発熱、爆発を避けるため、以下の注意事項に従ってください。

- 電池には内蔵の安全装置が組み込まれています。それらが適切に機能するよう、電池を分解したり、部品を変造したりしないでください。
- ワイヤなどの金属に剥き出しになった端子を直接接続して、電池をショートさせないでください。ネックレス、ヘアピンなどの金属と一緒に運んだり、保管したりしないでください。
- 電池を火気に入れて処分しないでください。
- 火や暖房機などの熱源付近で電池を使用したり、放置したりしないでください。
- 電池を水に浸さないでください。
- 充電するときは、電池専用の充電器を使用してください。
- 電池を刺す、打つ、投げる、踏むなどしないでください。
- 電池を直接はんだ付けしないでください。
- 電池を電源コンセントや車両シガレットライタに差し込まないでください。
- 電池を電子レンジや加圧容器に入れないでください。
- 電池を一次電池（乾電池など）や容量、ブランドの異なる電池と一緒に使用しないでください。
- 使用中に電池が異臭を放つ、熱を発生する、変色する、変形するなど異常が見られた場合、直ちに電池を機器または充電器から取り外し、使用を停止してください。
- 指定された充電時間内に再充電できない場合は、電池の充電を停止してください。
- 電池の漏出があると、電池は爆発するか発火する恐れがあります。付近に火元がないことを常に確認してください。
- 漏れた電解質が目に入った場合、浄水で洗い流し、直ちに医師の診察を受けてください。
- 非常に高温な場所に電池を保管しないでください。（例:車内、直射日光の当たる場所など）。これによって、電池が過熱もしくは発火する恐れがあり、性能が低下したり、電池寿命が短くなったりすることがあります。
- メーカーが保証するよりも強い静電気が発生するような場所で使用しないでください。
- 電池を子供の手の届く範囲に保管しないでください。

1.2　バックアップバッテリー

メインバッテリーの交換中に WORKABOUT PRO に保存したデータを保護するための、バックアップバッテリー（交換可能で再充電可能なリチウムイオンバックアップバッテリー）が備えられています。充電済みのメインバッテリーを装着する間、バックアップバッテリーは 5 分間連続して電源を供給します。
バックアップバッテリーは、メインバッテリーから細流充電されます。メインバッテリーに電力がある場合、バックアップバッテリーは WORKABOUT PRO のオンオフに関係なくドッキングステーションまたはクレイドルの中で充電を維持します。メインバッテリーが *サスペンドしきい値*に達してシャットダウンした場合でも、バックアップバッテリーがメインバッテリーからの細流充電を継続し、充電済みのメインバッテリーが装着されるまで、本機に保存されたデータを保護します。

注意事項: *バックアップバッテリーが完全に放電された状態（電池の切れた状態）から完全に充電されるまで**約 3～4 時間**かかります。メインバッテリーを完全に充電する場合も通常は同じ時間がかかります。バックアップバッテリーが完全に充電されていなくてもメインバッテリーの交換中に WORKABOUT PRO を使用し続けることは可能ですが、保存されたデータを失う恐れがありますので推奨できません。*

1.3 本体の電源オン

WORKABOUT PRO をオンにするには以下の操作を行います。

- [電源]キーを 1 秒以上押し続けます。
- LED が橙色に光ったら[電源]ボタンを離します。
  デスクトップ画面が表示されます。

注意事項: *本機が使用中だった場合は、電源がオフ（サスペンド状態）になることがあります。[電源]を押すと本機はこの状態から起動し、サスペンド状態になる前に操作していた画面が表示されます。*

1.4　電源オフ（サスペンド）

WORKABOUT PRO をオフにするには以下の操作を行います。

- [電源]キーを押します。

1.5　ハンディコンピュータのリセット

1.5.1　ウォームリセットの実行

ウォームリセットを実行するには以下の操作を行います。

・[FN/BLUE]キーおよび[電源]キーを同時に 6 秒以上押し続けます。
ウォームリセットを実行すると、開いていたアプリケーションは閉じられます。保存されていないデータはすべて失われます。
インストール済みのプログラムおよび保存済みのデータは保存されます。

注意事項: *無線設定した後に WORKABOUT PRO をリセットする必要はありません。*

1.5.2 Boot メニューへのコールドリセットの実行

コールドリセットを実行するには以下の操作を行います。

・中央の [SCAN]バーを押したまま、[FN/BLUE]および [電源]キーを同時に 6 秒以上押し続けます。
コールドリセット後、使用可能な Boot コマンドの一覧が表示された Boot メニューが現れます。

・Windows CE 6.0 オペレーティングシステムをロードするには **1** を入力します。

1.5.3 Windows CE OS へのコールドリセット

コールドリセットを実行して(Boot メニューを通さずに)Windows CE オペレーティングシステムを起動するには以下の操作を行います。

・[FN/BLUE]、[FN/ORANGE]、および [電源]キーを同時に 6 秒以上押し続けます。
または、「Windows スタートボタン」から「シャットダウン」「コールドリセット」を選択してください。※P28「シャットダウン」の項目を参照下さい。

クリーンスタート操作手順

① 端末起動時に「FN/BLUE」「Scan」「電源」キー3 つを 6 秒以上同時に押し、Boot モードを起動させます。

② Boot モード画面で、「.」「2」「5」「3」「2」「6」「Enter」の順にキーを押します。

③「Enter」後、クリーンスタートが起動します。

※コンピュータの起動遅延並びに画面表示されない場合は、クリーンスタートの手順をお試し下さい。

https://atgsupportcentral.motorolasolutions.com/content/emb/docs/manuals/8000290b.pdf

↑Reference to "User guide" for details of "Clean start" procedure, please.

1.5.4 Total Recall

Total Recall(復元)を実行するには以下の操作を行います。

・Windows スタートボタン→設定→コントロールパネル→Total Recall を選択。

・Total Recall 画面から「Manage Profile」を選択。

・リストから復旧させたいプロファイルを選択し「次へ」を押下。

※¥Flash Disk¥Default1.Pfl で出荷状態に戻せます。

・「次へ」を押下後、「Restore Now」を選択すれば Total Recall が起動します。

Total Recall(プロファイル作成)を実行するには以下の操作を行います。

・Windows スタートボタン→設定→コントロールパネル→Total Recall を選択。

・Total Recall 画面から「Create Backup」を選択。

・プロファイル名、作成場所を選択し「Start」を押下。

※設定変更、追加した時は新規プロファイルを作成してください。

2. WORKABOUT PRO 4 L/S の説明

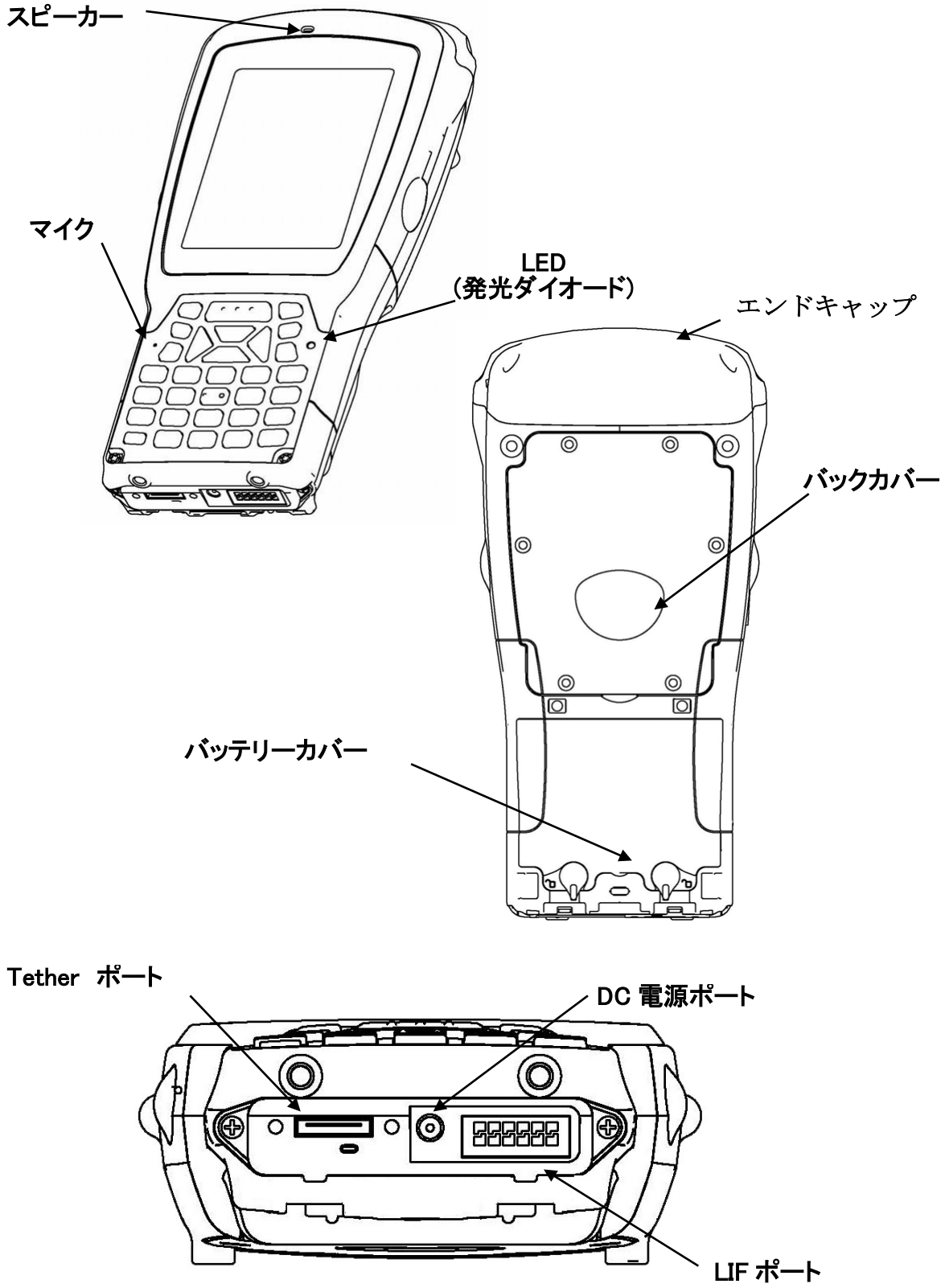
7528L-G4

7528S-G4

55-Key Keyboard

31-Key Keyboard

2.1 各モデル共通部位


スピーカー
マイク
LED
（発光ダイオード）
エンドキャップ
バックカバー
バッテリーカバー
Tether ポート
DC 電源ポート
LIF ポート

2.2 キーボード

キーボードには各標準キーの他、補足キーやシステム機能にアクセスするため[FN/BLUE]、[FN/ORANGE]の特殊キーが配置されています。これらの補足キーは、標準キーの上に*オレンジ*または*ブルー*で表示されています。

2.2.1　特殊キー

[SHIFT], [CTRL], [ALT], [FN/BLUE] 及び[FN/ORANGE]キーは特殊キーです。特殊キーを押すと、次に押すキーの機能を変更します。例えば、[FN/ORANGE]キーは数字キー[2]の下に*オレンジ色*で表示されています。[FN/ORANGE]キーを押して、[2]キーを押すと、「2」でなく「*a*」の文字が表示されます。

[CTRL]キーと[ALT]キーは、コード化されない（2 つのキーを同時に押すことができない）ことを除いて、デスクトップキーボードのように機能します。特殊キーを先に押してから、変更したい機能のキーを押します。

特殊キーの起動

特殊キーを 1 度押すと、特殊キーアイコンがタスクバーにキーを*小文字*で表示します。例えば、[CTRL]キーを 1 度押すと、タスクバーに「**ctrl key**」と表示されます。次のキーを 1 度押すと、特殊キーは無効になり、タスクバーから消えます。

特殊キーのロック

特殊キーを 2 度押すと、ロックされます。「ロック」された特殊キーアイコンは、タスクバーに*大文字*で表示されます。例えば、[FN/BLUE]を 2 度押すとロックされ、スクリーンの下部タスクバーに「**BLUE KEY**」と表示されます。
ロックされた特殊キーをもう一度押すか（3 度目）、電源をオフにするとロックは解除されます。

2.2.2　キー

[電源]キー

本体の電源オン／オフ操作をする場合に使用します。

[FN/ORANGE]キー

[2]～[9]の数字キーの下に*オレンジ色*で表示されているアルファベットを有効にする場合に使用します。

[SHIFT]キー

アルファベットを大文字で表記する場合に使用します。

矢印キー

キーボード上部の円形キーに配置されています。スクリーン内のカーソル移動（上下左右）に使用します。

[BKSP/DEL]キー

カーソルを 1 文字左に移動し、間違って入力した文字を消去します。

[DEL]キー（[FN/BLUE]、[BKSP]）はカーソル位置の文字を消去します。

[CTRL]と[ALT]キー

アプリケーションに応じた機能に従って、次に押すキーの機能を変更します。

[FN/ BLUE]キーを押して、数字キーの[F1]キーを押すと、この[CTRL]キーを使用できます。

[FN/ BLUE]キーを押して、数字キーの[F1]キーを押すと、この[ALT]キーを使用できます。

[TAB]キー

通常は、カーソルを右または下の入力欄に移動します。[SHIFT]キーと[TAB]キーを押すと、カーソルは後退します。

[ESC]キー

一般に、現在のメニュー、ダイアログボックス、アクティビティを閉じ、前の状態に戻るキーボードショートカットとして使用します。

[SPACE]キー

文字の間に空白スペースを挿入します。Windows ダイアログボックスでは、[SPACE]キーは、（✓）を有効にするか、チェックボックスを無効にします。[FN/ORANGE]キーを押して、数字キーの[0]キーを押すと、このキーを使用できます。

[SCAN]キー

押している間、スキャナビームが起動します。内部スキャナが搭載されていないモデルでは、このキーは無効です。

[ ]（Windows）キー

タスク バーのスタートメニューを開きます。

ファンクションキー [F1]～[F10]

特別にカスタム設定した機能を実行します。[FN/BLUE]キーを押して、[1]～[0]の数字キーを押すと、これらのキーが使用できます。これらは、Windows CE.NET オペレーティングシステムまたは他のアプリケーションで使用できます。

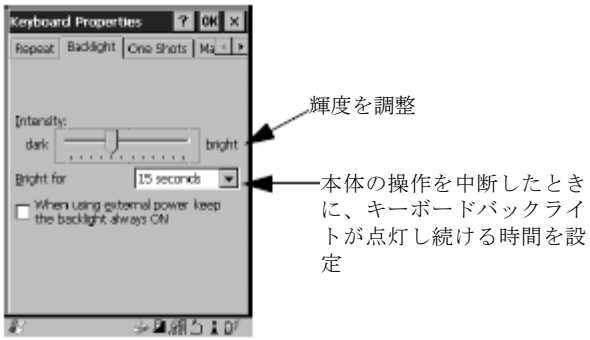
2.3 キーパッドバックライトの調整

キーパッドバックライトの輝度と動作条件を調整します。

- コントロールパネルから、**キーボード**アイコンを選択してください。

注意事項: *アクセスは管理者のみに制限される場合があります。*

- *[キーボードのプロパティ]*ダイアログボックスから**[バックライト]**タブを開いてください。

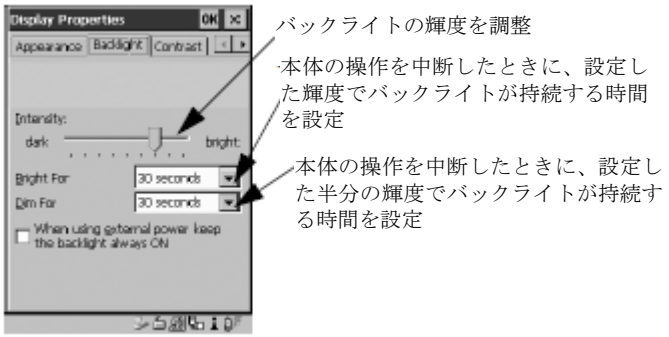


2.4　ディスプレイ(バックライトの調整)

バックライトの範囲設定

- コントロールパネルから、**画面**アイコンを選択してください。
- **[バックライト]**タブを表示してください。

注意事項: *調整は管理者のみに制限される場合があります。*



2.5　タッチスクリーンの調整

注意事項: *本機能は管理者のみに制限される場合があります。*

タッチスクリーンを一度も調整していない場合や、項目をタッチしたときにスタイラスポインタが不正確な場合は、以下の手順に従います。

- コントロールパネルで**スタイラス**アイコンを選択し、**[修正]**タブを選択し、**[再修正]**ボタンをタッチしてください。

- 画面の指示に従って、ディスプレイを調整してください。

2.6 インジケータ

WORKABOUT PRO はインジケータとして LED（発光ダイオード）、画面メッセージおよび音声を使用します。

2.6.1 LED

[ENTER]キーの真上の本体右側の 1 箇所に LED（2 色）が配置されています。電源 OFF の状態から[電源]を押すと、LED が緑に点滅し、本体の電源がオンになったことを示します。
下に示す LED の表は、本体が充電器にセットされている間の LED の動作を示します。

LED の動作	内容
緑の点灯	充電完了
緑の早い点滅	充電中・充電状態 80%以下
緑の遅い点滅	充電中・充電状態 80%以上
赤の点灯	気温が充電可能な範囲(0-50℃)にない
赤の点滅	電池が未充電、電池の故障

2.6.2 画面のインジケータ

スクリーン下部のタスクバーは、各システムステータスインジケータを表示します。

タスクバーは動的に変化し、使用可能なアイコンのみが表示されます。アイコンを 2 回タッチ（ダブルタップ）すると、関連するダイアログボックスが表示されます。

Windows®スタートボタン

タスクバーの Windows®**スタート**ボタンをタッチすると、スタートメニューが表示されます。

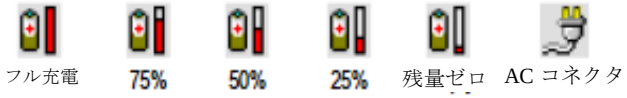
特殊キーインジケータ

[SHIFT], [CTRL], [ALT], [FN/BLUE] 及び[FN/ORANGE]キーは特殊キーで、画面上のインジケータは、キーが有効かロックされているかを表示します。特殊キーを 1 度押して起動すると、タスクバーにキーが *下記アイコン*で表示されます。

特殊キーを 2 度押してロックすると、タスクバーの画面インジケータにアンダーバーで表示されます。

電池ゲージ

電池アイコンは、電池の残量を視覚的に示します。本体が外部 AC 電源を使用している場合、AC アイコンが表示されます。



電池の充電

電池が充電されている間、電池充電アイコンがタスクバーに表示されます。

LIF および USB 機器

ドッキングステーションや充電器などの機器が USB（接続）ポートか LIF ポートに接続され起動されると、関連するアイコンがタスクバーに表示されます。

新しい機器が接続された:LIF ポート

新しい機器が接続された:USB ポート

Bluetooth

このアイコンは、本体でブルートゥース無線が動作していることを示します。

2.7 音声インジケータ

音声スピーカーから様々な音を鳴らし、各条件に応じて設定することができます。

注意事項: コントロールパネルの「ボリューム サウンド」*ダイアログボックスを使用して、ボリュームを調整することもできます。*

スピーカーボリュームの調整

ボリュームキーは、矢印キーの上下に配置されていて、本体から発せられる音声ボリュームの調整に使用します。

ボリュームアップキーはプラス記号 （+）で印されています。

ボリュームダウンキーはマイナス記号 （-）で印されています。

スピーカーボリュームを調整するには、以下の手順に従います。

- [FN/BLUE]を 2 回押すと、ボリュームをロックします。
- 上矢印キーを押すと、ボリュームが*上がります。*
- 下矢印キーを押すとボリュームが *下がり*ます。
- [FN/BLUE]キーを再度押すと、ロックを解除します。

3. Windows CE の操作

デスクトップコンピュータにおいてマウスを使用した「ポイントしてクリックする」動作は、WORKABOUT PRO においてタッチスクリーン上をスタイラスでタッチする動作に対応します。さらに、「ポイントしてクリックする」動作に対応するキーボードショートカットも使用可能です。

3.1 タッチスクリーン上の操作

すべての WORKABOUT PRO は、タッチスクリーンとスタイラスが装備されています。
タッチスクリーンへの損傷を防ぐため、付属のスタイラスのみを使用し、ドライバなどの**鋭利な器具を*使用しないでください*。**

ファイルを開くには、アプレットを起動するか、フォルダを開いてください。

- 目的のアイコンにスタイラスでタッチしてください。

注意事項: *スクリーンタッチしてもタッチスクリーンが反応しない場合、再調整が必要です。16 ページの「タッチスクリーンの調整」を参照してください。*

3.2 キーボードによる操作

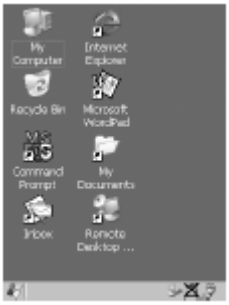
キーボードを使用して、アイコンの選択、ダイアログボックスの操作、デスクトップの表示などができます。

デスクトップコンピュータと異なり、WORKABOUT PRO はキーコーディング（同時に 2 つのキーを押す操作）をサポートしていません。1 つのキーを押してから、次のキーを続けて押す必要があります。

操作	キーまたはキーの組合せ
アプリケーション間の切り替え	[ALT] [TAB]
タスクマネージャ画面を開く	[ALT] [ESC]
カーソルの移動	矢印キー
ファイル、フォルダ、アイコンを開く	[ENTER]
保存して終了	[ENTER]
保存せず閉じる/終了	[ESC]
ダイアログボックス内の操作	次の入力欄: [TAB] カーソルを上に移動: [SHIFT] [TAB] 次の「タブ」を表示: [CTRL][TAB]
ラジオボタンの選択/ボタンを押す	[SPACE]
電源 ON/OFF	電源 OFF: 電源 ON 時に[電源] 電源 ON : 電源 OFF 時に[電源]
スタートメニューへ移動	[ ]

3.3 スタートアップデスクトップ

本体が起動すると、スタートアップデスクトップが表示されます。[スタートアップ]フォルダに保存されているアプリケーションが直ちに起動します。[スタートアップ]フォルダは次の場所にあります（*¥Windows¥*スタートアップ）。



3.4 デスクトップアイコンの操作

- アイコンを 2 回タッチしてウィンドウを開きます。アプリケーションアイコンの場合は、アプリケーションを起動します。

3.5 タスクバー

スクリーン下部のタスクバーにアイコンが表示され、セキュリティレベルや電池の容量を確認することができます。本体に Bluetooth が装備されている場合、対応するアイコンがタスクバーに表示されます。WORKABOUT PRO に充電器、ドッキングステーションが接続されている場合、対応するアイコンなどが表示されます。

タスクバーはさらに、[SHIFT], [CTRL], [ALT], [FN/BLUE] 及び[FN/ORANGE]の有効になっている特殊キーを表示します。ロックが「オン」になっているキーは、*大文字*で表示されます。

タスクバーの使用

- アイコンをタッチして、関連するダイアログボックスを表示します。たとえば、電池のアイコンをタッチすると、*[パワー]*ダイアログボックスが表示され、現在の電池の残容量を確認することができます。

3.6 スタートメニュー

*スタートメニュー*は、ユーザーが使用し作業することができる操作の一覧を表示します。各操作は、スタートアップデスクトップか、各アプリケーションからアクセス可能です。

メニュー表示する方法は以下の通りです。

- タスクバーの Windows®ボタン( )をタッチしてください。メニューから作業目的の項目をタッチしてください。

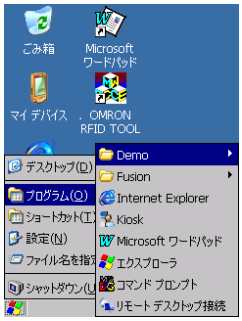
注意事項: *タッチスクリーンが無効になっている場合、[ ]キーを押してください。*

デスクトップ

*スタートメニュー*から**[デスクトップ]**を選択し、デスクトップを表示してください。

プログラム

*[プログラム]*は、オプションのサブメニューを表示し、これを使用してアプリケーションへアクセスすることができます。



ショートカット

このメニューはタスクショートカットへのアクセスを提供します。

システムトレイ

キーボードから、スクリーン下部のタスクバーのアイコンにアクセスすることができます。

タスクバーには、電池容量ゲージなどのインジケータが表示されます。これらのインジケータは、関連するダイアログボックスを表示し、補足情報を確認することができます。

- *[ショートカット]*メニューから**[システムトレイ]**を選択してください。

[システムトレイ]を選択すると、タスクバーアイコンにアクセスすることができます。各アイコンに関連するダイアログボックスを表示する方法は以下の通りです。

- 左右矢印キーを使用して、作業目的のアイコンを反転表示してください。
- [ENTER]を押して、関連するダイアログボックスを表示します。

サイクルタスク

起動中のアプリケーションを切り替えるのに使用します（タスクマネージャが開いていないことを条件とする）。起動中のタスクの切り替え方法は以下の通りです。

- *[シュートカット]*メニューの**[タスク切替]**をタッチします。

タスクマネージャ

他のタスクに切り替えるか、起動中のタスクを終了するのに使用します。[Task Manager]ウィンドウを表示する方法は以下の通りです。

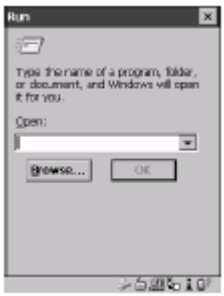
- *[ショートカット]*メニューの**[タスクマネージャ]**をタッチします。

設定

[設定]をタッチすると、オプションのサブメニューが表示されるので、そこから*[コントロールパネル]*アプレットにアクセスして、無線（*ネットワークおよびダイアルアップ接続*）の設定と、*タスクバー*と*スタートメニュー*をカスタマイズすることができます。

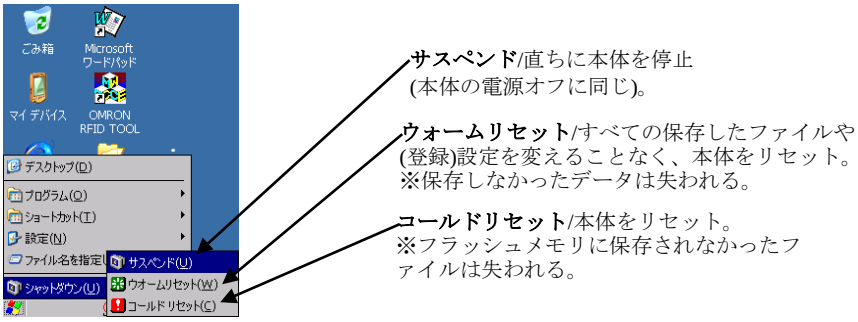
実行

[ファイル名を指定して実行]オプションを選択すると、ダイアログボックスが表示されるので、開きたいプログラム、フォルダ、文書の名前を入力します。



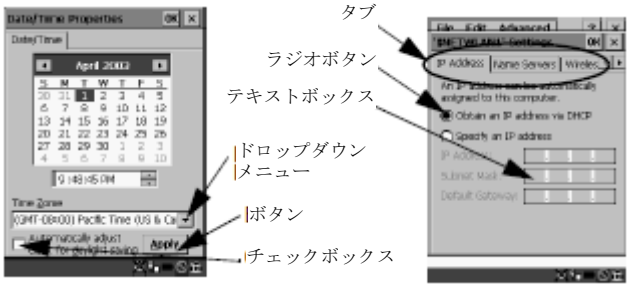
シャットダウン

[シャットダウン]をタッチすると、終了のオプションが表示されます。



注意事項: このメニューはセキュリティレベルによって異なります。**ユーザー**レベルでは、[シャットダウン]サブメニューは[サスペンド]の 1 オプションに替わります。サブメニューは使用できません。

3.7 ダイアログボックスの使用



注意事項: *ダイアログボックス内の項目を、スタイラスを使ってタッチして選択/選択解除し、ドロップダウンメニューなどを表示します。*

本節の例で取り上げたように、ダイアログボックスには、以下の要素が 1 つ以上含まれています。

タブ: タブはダイアログボックスの各要素を分離します。作業目的のタブをスタイラスでタッチしてください。

テキストボックス: テキストボックスには情報を入力します。作業目的のテキストボックスをタッチして反転表示し、情報を入力してください。

ドロップダウン: このタイプのメニューには、ドロップダウンメニューの横に上下の矢印があり、利用可能な他のオプションを示します。メニューをタッチして反転表示し、メニューに付いている矢印をタッチしてオプションを切り替えます。

チェックボックス: このボックスから、オプションの選択/選択解除を行うことができます。チェックボックスを選択（✓）/選択解除するには、スタイラスでチェックボックスをタッチしてください。

ラジオボタン: これらのボタンを使用して、多数のオプションから選択することができます。例えば、サンプルスクリーンでは、「**DHCP により IP アドレスを取得**」または「**IP アドレスを指定**」を選択することができます。横のラジオボタンをタッチして、オプションを有効にします。

ボタン: このタイプのボタンを使用して、ダイアログボックスで選択したオプションの**保存**、**削除**などを実行することができます。実行したいボタンをタッチしてください。

選択したものを保存: すべての変更が完了したら、**[OK]**ボタンをタッチして、変更を保存し、ウィンドウを終了します。

注意事項: *ダイアログボックスの中にグレー文字で表示されている項目があれば、その項目は現在使用できません。*

4. メンテナンス全般

4.1 タッチスクリーンの手入れ

タッチスクリーンは、強力な化学物質により回復不能な損傷を受けることがあり、すり傷やかき傷にも強くありません。タッチスクリーンに鋭利な器具を使用すると、プラスチックを傷つけ、内部の導電膜に裂け目ができることがあります。以下に示す化学物質からタッチスクリーンを保護してください。

- マスタード
- 水酸化ナトリウム
- 濃縮苛性水溶液
- ベンジル・アルコール
- 濃縮弱酸性溶液

タッチスクリーンを苛酷な環境で使用する場合は、使い捨てのスクリーンプロテクタを適用すると、タッチスクリーンの寿命が大幅に延びます。

4.2 WORKABOUT PRO の掃除

重要: 本体を水に浸さないでください。柔らかい布を中性洗剤で湿らせ、本体を拭き掃除してください。

- 本体を掃除する際は、中性洗剤または石けん水*のみ*を使用してください。
- 研磨クリーナーや溶剤、強い化学物質の使用は避けてください。プラスチック製のケースは、強力な化学物質により簡単に傷がつきます。プラスチックは油、軽油、ガソリンによって部分的に溶けます。プラスチックは強いアルカリ溶液によってゆっくりと分解します。
- キーパッドとタッチスクリーンから指紋を拭き取る場合は、イソプロピルアルコールを使用してください。

5.　サポートサービスと世界各地の窓口

Zebra Technologies は、世界各国のお客様に対し、一貫した製品サポートサービスを提供します。これらのサービスには技術サポートと製品の修理が含まれます。

5.1　技術サポート

Zebra Technologies customer and partner extranet（顧客・パートナーエクストラネット）を介した電子メールによって、モバイルコンピューティング製品の技術サポートが提供されます。ウェブサイト（*www.zebrax.com*）にアクセスし、ホームページから目的の Teknet リンクをクリックしてください。Teknet に登録済みか未登録であるかに応じて、「Log-in（ログイン）」ボタンまたは「Register（登録）」ボタンをクリックしてください。いったんログインしたら、「Support Request Form（サポートリクエストフォーム）」を探してください。

5.2 製品修理

日本以外

日本以外における技術サービスは、当社ワールドワイドウェブサイトに掲載の地域 Zebra Technologies オフィスにお問い合わせください。

http://www.zebra.com

5.3 世界各地のオフィス

本社およびサービスセンター

COMPANY HEADQUARTERS
Zebra Technologies Corporation

475 Half Day Road, Suite 500.
Lincolnshire, Illinois 60069 USA
Tel: +1 847 634 6700
Fax: +1 847 913 8766

Latin American Sales Office (Miami)
Zebra Technologies Corporation

9850 NW 41st St.
Suite 110
Doral, FL 33178 USA
Tel: +1 305 558 8470
Fax: +1 305 558 8485
Technical Helpdesk +1 877 275 9327

Zebra Technologies Europe Limited

Dukes Meadow
Millboard Road
Bourne End
Buckinghamshire, SL8 5XF, UK
Tel:+44 (0)1628 556000
Fax: +44 (0)1628 556001

プログラムライセンス契約

Microsoft のエンドユーザーライセンス契約

本ユーザーは、Microsoft Licensing , , Inc.またはその関連企業（以下 MS）から Zebra Technologies によってライセンス供与されたソフトウェアを搭載する機器を入手しました。MS 製のインストール済みソフトウェア製品、関連メディア、印刷物および「オンライン」または電子文書（以下ソフトウェア）は、国際知的所有権に関する法律と条約によって保護されています。ソフトウェアはライセンス供与されるもので販売されたものではありません。すべての権利に所有権が設定されています。

ユーザーが本エンドユーザーライセンス契約に同意しない場合は、本機器の使用とソフトウェアのコピーを禁止します。その代わり、Zebra Technologies に至急連絡し、未使用の機器の返品と返金について指示を受けてください。**本機器（これに限定しない）でのソフトウェアの使用は、ユーザーがエンドユーザーライセンス契約（または過去の同意の承認）に同意したことになります。**

ソフトウェアライセンスの供与。このエンドユーザーライセンス契約は、以下のライセンスを供与します。

- 当該ソフトウェアは本機器のみで使用可能です。
- **耐故障性はありません。**ソフトウェアに耐故障性はありません。Zebra Technologies は、本機器でソフトウェアをどのように使用するかを独自に決定し、MS はその使用が適正であることを判断するための十分なテストを Zebra Technologies に委ねています。
- ソフトウェアの保証はありません。**ソフトウェアは、不具合箇所も一緒に「そのまま」の状態で提供されます。満足できる品質、性能、精度、および取り組み（過失がないことを含む）に関するすべてのリスクはユーザーが負います。また、ユーザーのソフトウェア保有についての干渉や侵害についての保証はありません。**本機器やソフトウェアに関する保証を受け取っている場合、その保証は、MS に起因するものでなく、MS が責任を負うものでもありません。
- **Java サポートについての注意。**本ソフトウェアは、Java で記述されたプログラムをサポートする場合があります。Java 技術には耐故障性がなく、原子力施設、航空機の航行、通信システム、航空管制、生命維持装置、兵器システムなど、フェイルセーフ機構が要求され、Java 技術の不具合により直接的に死亡、負傷、深刻な物理的損害や環境的損害に至ることのあるような危険な環境におけるオンライン制御機器として使用および再販売されるように設計、製造、意図されたものではありません。Sun Microsystems、, , Inc.は契約上、MS にこの免責条項を義務づけています。
- 損害賠償の免責。**法律によって禁止されている事項を除き、MS は、ソフトウェアの使用または実行に関連して発生した、間接的、特別、必然的、偶発的な損害については、一切責任を負わないものとします。いかなる対策を講じてもその本質的な目的を達成できない場合であっても、この制限は適用されます。いかなる場合でも、MS は 250 米ドルを超えて補償することはありません。**
- **リバースエンジニアリング、逆コンパイルおよび逆アセンブルについての制限。**ユーザーは、この制限に関わらず、準拠法により明示的に許可されている場合のみを除いて、本ソフトウェアを、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすることはできません。
- **制限付きソフトウェア移転許可。**ユーザーは、本エンドユーザーライセンス契約に基づいて、本機器を販売し永久的に移譲した場合で、受け取った側がこのエンドユーザーライセンス契約に同意した場合に限り、権利を永久的に移譲することができます。本ソフトウェアがアップグレードされた場合、本ソフトウェアの以前のバージョンも移譲に含める必要があります。
- **輸出制限。**本ソフトウェアは、米国輸出管理法令が適用されることを認識する必要があります。ユーザーは、本ソフトウェアに適用される、米国の輸出管理規制や米国や他国政府によるエンドユーザー使用規制や仕向け国における規制など、すべての国際法および国内法を遵守する必要があります。その他の情報に関しては、http://www.microsoft.com/exporting/を参照してください。

メーカー保証

１条　保証内容

Zebra Technologies 社製品は株式会社ブレイン（以下弊社と称す）が、お客様による正常な使用において保証期間内に故障した場合には、以下に示す条項に従い、対応させていただきます。

尚、本書はメーカー保証書であり、一般修理保証書ではありません（４条参照)。よって、弊社より直接販売を受けていない場合や、代理店等を通しての製品受託後に発生した、ＰＬ法に係わる事案以外の瑕疵担保責任等の対応などは、全て販売店もしくは製品受託店へお願い致します。

２条　保証期間

製品本体および工場出荷時内蔵オプションの保証期間は、本保証書記載のとおりです。

購入製品の保証期間は、購入日より１年間とさせていただきます。

３条　保証対象

この無料修理規定は、弊社により販売された製品およびハードウェアについて適用されます。

４条　保証範囲

記憶装置または保存媒体に記憶された内容は、故障や障害の内容にかかわらずその損失、損害については、一切その責任を負いません。お客様自身でデータのバックアップを行って下さい。弊社製品を販売店（代理店含む）により他社製品と合せて購入された場合であっても、他社製品、またそれに起因する故障等は、無料修理の対象外となります。また、それらについては各社の定める保証の対象となります。

※　保証の除外事項について

①周辺機器との相性や互換性による原因で症状が発生する場合

②同一商品では全て同じ症状が発生する場合

③商品の自然消耗、磨耗、劣化による場合

④日本国外で使用する場合、および持ち出された場合

５条　保証条件

・次のような場合には、保証期間内でも有料もしくは保証対象外とさせていただきます。

1：使用上の誤り、取扱説明書に記載された安全上のご注意、お願い事項を守られない場合の故障や損傷。

2：製品の分解、改造や指定品以外のオプション品を使用した場合の故障や損傷。又は、弊社封印シールの剥れ等による改造・分解が疑われる物。

3：内蔵機器か外付け機器かを問わず、他の機器に起因して受けた故障や損傷。また、弊社が添付していないソフトウェア等をインストールした事等に起因する問題。

4：弊社および弊社が認めた保守実施会社以外の者による保守サービス行為を受けた場合。

5：お買い上げ後の外的要因（弊社規定外の落下、衝撃・圧力等の負荷、液体・薬品等の付着、水没など）により生じた故障や損傷。

6：火災、天変地変（地震、風水害、落雷等）、塩害、ガス害、虫害、公害、異常電圧などによる故障や損傷。

7：取扱説明書に記載された動作条件の範囲外での使用による故障や損傷。

8：保証書の提示がない場合、および本書押印欄に弊社印及び販売店印（代理店含む）の無い物や購入日の記載が無い場合、もしくは本書の字句を書き替えられた場合。

9：消耗品や寿命品（バッテリ含む）の交換。経年による劣化、パーツの寿命等は実費にて精算となります。

10：離島または離島に準ずる遠隔地へ出張対応を行う場合に要する実費。

11：その他、弊社の責に帰し得ない事由により生じた故障や損傷。

・この保証は、日本国内においてのみ有効です。

・この保証は、最初の購入にのみ適用され、以降の転売、譲渡には適用されません。

6条　その他

・弊社の保証形態と致しまして、基本的にお客様より製品を送付していただく、センドバック方式を採用しております。お客様のご都合等で、商品をお送り頂けない場合、もしくは各店舗へお持ち込み頂けない場合にはサポート・交換・修理などをお受けできない場合がございます。

・お預かりした製品は場合により、修理・チェックに数日から数十日を要するものがあります。

・修理は、メーカー指定修理工場にて行い、対応完了後、弊社からお客様へ返送します。

・お客様へ修理(処置)の報告後、製品をお受け取り頂けない場合や、連絡不能、拒否、返却先不明などが発生した際は弊社に到着、もしくはお持ち込みになられた日より6ヶ月間保管させて頂きます。6ヶ月間の保管期間を超過したものは所有権を放棄されたものとみなし当社で処分できるものとします。発生した費用(修理費・検査費・保管費、処理費等)は請求できるものと致します。

・この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を保障するものではありません。また、本保証書は再発行致しませんので大切に保管して下さい。

・保証期間経過後の修理などについて、詳細は弊社カスタマーサポートへお尋ね下さい。

・修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。

・修理は製品機能・性能の修復・維持を目的とし、保守部品（補修用性能部品）は、機能・性能が同等な新品製品あるいは新品と同等に品質保証された部品（再利用部品）を使用し、故障した部品と交換します。

・弊社にお預けいただいた時点でこれらにご同意頂けたものとみなします。